

様式 F-9 [記入例]

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究分担者変更承認申請書

平成23年12月12日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇大学・〇〇研究科・教授 〇〇 〇〇 [印]

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究（C）））について、下記のとおり研究分担者を変更したいので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

1. 課題番号 2 3 2 3 4 5 6 7

2. 研究課題名 〇〇の××に関する総合的研究

3. 交付決定額

合計	5,460,000 円
直接経費	4,200,000 円
間接経費	1,260,000 円

4. 補助事業期間 平成23年度～平成26年度

5. 補助事業者及び役割分担

		変更前（旧）				変更後（新）					
研究代表者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職				
	1 0 7 6 5 4 3 2	1 2 3 4 5 5	×	×	2 0	1 0 7 6 5 4 3 2	1 2 3 4 5 5	×	×	2 0	
	〇〇 〇〇	〇〇大学・〇〇研究科・教授				〇〇 〇〇	〇〇大学・〇〇研究科・教授				
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）				
研究の総括とモデル化		2,800,000 円				研究の総括とモデル化		2,500,000 円			
研究分担者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職				
	2 0 8 7 6 5 4 3	1 2 3 4 5 5	×	×	2 8	2 0 8 7 6 5 4 3	1 2 3 4 5 5	×	×	2 7	
	▲▲ ▲▲	〇〇大学・〇〇学部・助教				▲▲ ▲▲	〇〇大学・〇〇学部・助教				
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）				
▲▲資料の構成と分析		800,000 円				▲▲資料の構成と分析		800,000 円			
研究分担者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	削除					
	氏名	所属研究機関・部局・職				削除					
	1 0 9 8 7 6 5 4	1 2 6 8 0 6	×	×	2 8	削除					
	△△ △△	●大学・●学部・准教授				削除					
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				削除					
●●に関するシミュレーション		600,000 円				削除		200,000 円			
追加	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職				
						2 0 8 9 7 6 5 4	1 2 6 8 0 6	×	×	2 8	
						●● ●●	●大学・●学部・准教授				
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）				
		円				●●に関するシミュレーション、〇〇のモデル化		700,000 円			

変更なしの場合

研究分担者の削除の場合

研究分担者の追加の場合

6. 事実発生（予定）年月日及び変更理由

(1) 事実発生（予定）年月日

研究分担者の削除：平成23年12月31日

研究分担者の追加：平成24年1月1日

(2) 研究分担者の変更が生じた理由

研究分担者の削除： 研究分担者である△△△△は、平成24年1月1日付で米国〇〇研究所へ異動する予定であり、科研費の応募資格を喪失するため。

研究分担者の追加： 研究分担者から外れる予定である△△△△の行っていた〇〇の調査について、代わりに実施するため。

7. 確認事項

(1) 研究分担者を削除しても研究計画の遂行に支障がない理由（削除の場合のみ）

（以下の点を必ず網羅した上で具体的に記入すること。）

- ・ 外そうとする研究分担者の役割分担
- ・ 当該分担部分の代替手段（役割分担や研究計画の変更等）
- ・ 補助事業期間全体を通じた研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由

従来、△△△△が行っていた〇〇の調査は、新たに追加する予定の〇〇の専門家である●●●●が実施する予定であり、研究計画の遂行には支障がない。なお、本人の承諾は得ている。

(2) 新しく研究分担者として追加する者の適格性（追加の場合のみ）

（以下の点を必ず網羅した上で具体的に記入すること。）

- ・ 追加しようとする研究分担者の役割分担
- ・ 当該分担者を追加する必要性
（追加することで得られる効果、分担者としての適格性、当該研究課題との関係等）

新しく研究分担者として追加する●●●●は、△△△△と同じ分野の研究者であり、〇〇の調査と類似の△△の調査において既に実績があり、また〇〇など優れた〇〇をあげており、研究分担者として適任である。なお、本人の承諾は得ている。

様式 F-9 【作成上の注意】

1. この申請書は、研究代表者が、交付決定後に研究分担者を追加、削除する場合にA4判・両面印刷（縦長）で作成し、所属する研究機関を経由して提出すること。
また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写（この研究課題が研究分担者を変更している場合は、交付申請書及び当該研究分担者変更承認申請書の写）を一部添付すること。
なお、実際の研究分担者の変更は承認が下りた後となるので、研究分担者を追加した場合等の分担金の送金手続きなど必要な手続きは承認後に行うこと。
 2. 「研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名」欄には、研究代表者の所属する研究機関名、部局名、職名を省略せずに記入すること（部局のない研究機関の場合は、部局名は不要）。
研究代表者の氏名は、記名押印又は署名により記入すること。
 3. 「1. 課題番号」欄には、交付決定通知書に記載の課題番号（8桁）を記入すること。
 4. 「2. 研究課題名」欄には、交付申請書に記載の研究課題名を記入すること。
 5. 「3. 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること（間接経費交付決定額変更申請を行うなど交付決定額を変更した場合には、変更後の交付決定額を記入すること）。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
 6. 「4. 補助事業期間」欄には、交付申請書に記載の補助事業期間を記入すること。なお、補助事業期間の延長が認められている場合には、延長後の補助事業期間を記入すること。
 7. 「5. 補助事業者及び役割分担」欄には、研究代表者・研究分担者の氏名（研究者番号）、所属研究機関・部局・職（機関番号・部局番号・職番号）及び役割分担の具体的内容を、「変更前（旧）」、「変更後（新）」の各補助事業者についてそれぞれ記入すること。なお、当欄については、必要に応じて様式の記入欄を追加しても差し支えない（様式全体で2枚以上の構成も可）。
交付決定後、本申請書提出までに補助事業者が所属機関を変更している場合、「変更前（旧）」「変更後（新）」欄には、変更後の研究機関名等を記入すること。
「直接経費（研究者別内訳）」欄については、研究代表者又は研究分担者が、補助事業期間全体を通じて使用する予定の直接経費（この申請書の提出時までに使用済みの金額を含む。）を記入し、その合計金額が「3. 交付決定額」欄の「直接経費」と一致すること。なお、「変更前（旧）」欄の「直接経費（研究者別内訳）」欄については、交付申請書の「補助事業期間全体を通じた直接経費（研究者別内訳）」欄に記載された額（この研究課題が以前に研究分担者を変更している場合は研究分担者変更承認申請書の「変更後（新）」欄の「直接経費（研究者別内訳）」欄に記載された額）を記入すること。
- 作成にあたっては、以下を踏まえ必要に応じ記入例を参照し、作成すること。
- ・ 研究分担者を「削除」する場合は、当該研究分担者について「変更前（旧）」欄に必要事項を記入の上、「変更後（新）」の研究分担者欄に斜線を付し、「削除」と記入すること。
なお、使用額がある場合には、「変更後（新）」の直接経費欄に使用額を記入すること。
使用額がない場合には「0」を記入すること。
 - ・ 研究分担者を「追加」する場合は、当該研究分担者について「変更後（新）」の研究分担者欄に必要事項を記入すること。なお、「変更前（旧）」の分担者欄を空欄とし、斜線を付すこと。
なお、「変更後（新）」欄の「直接経費（研究者別内訳）」欄には、今後補助事業終了までの間に使用する予定の直接経費を記入すること。
8. 「6.（1）事実発生（予定）年月日」欄には、研究分担者が退職等により研究ができなくなる年月日（予定）を記入すること。また、研究分担者を追加する場合には、研究分担者の追加を希望する日を記入すること。なお、補助事業者の変更は、日本学術振興会の承認後となりますので、助成金の執行にあたっては十分留意してください。
「6.（2）研究分担者の変更が生じた理由」欄には、できる限り具体的に理由を記入すること。（所属機関の変更があるものはその変更先も記入すること。）

9. 研究代表者は、研究分担者を変更（追加・削除）する場合には、当該研究者本人の承諾を得た上で7.（1）及び（2）についてできる限り具体的に記入すること。

研究分担者を「追加」する場合は、当該研究者から別途「研究分担者承諾書（様式F－11又は様式F－12）」を徴収すること。

○記入にあたっての注意点

- （1）・・・研究分担者を削除しても補助事業期間全体を通じた研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由等について記入すること。
- （2）・・・研究分担者を追加することにより得られる効果、分担者としての適格性、当該研究課題との関係等について記入すること。